

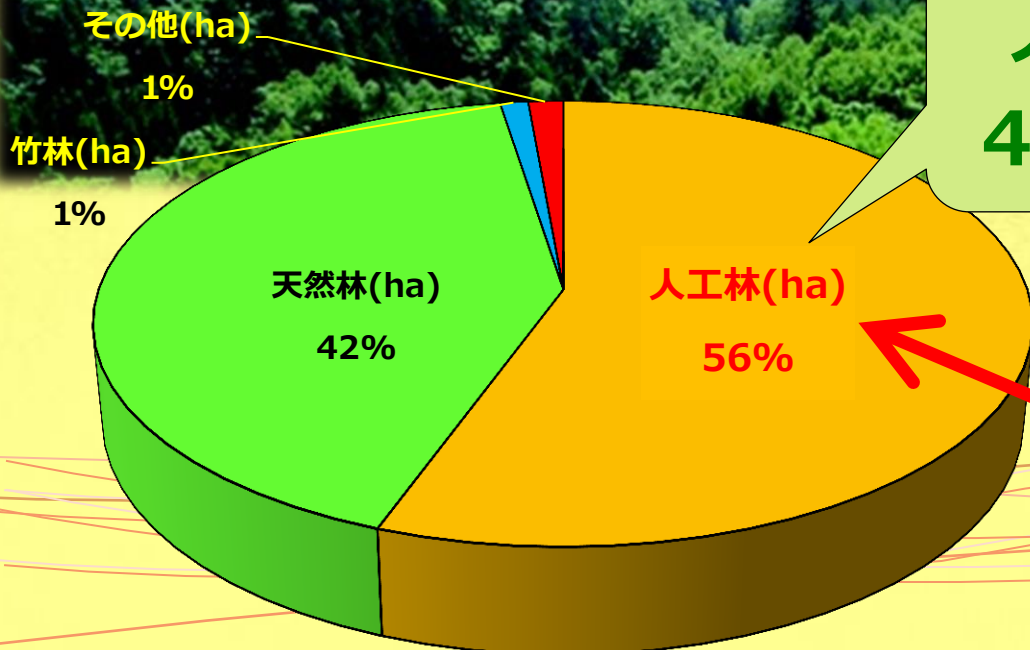
山口阿東森林組合における 搬出間伐への取り組み



山口阿東森林組合 代表理事組合長 山本秀生

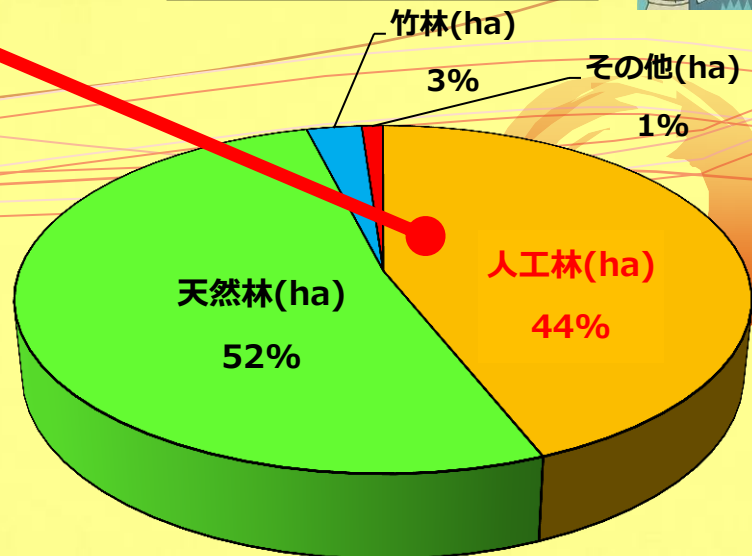
山口阿東森林組合 管轄区域の森林概況

阿東地域民有林の概況

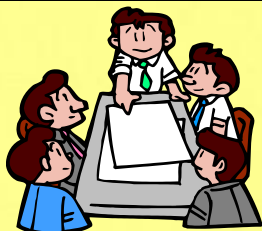


人工林率は県平均
44%を上回る56%

山口県民有林の概況



人工林 (ha)	人工林率	天然林 (ha)	竹林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)
	56%				



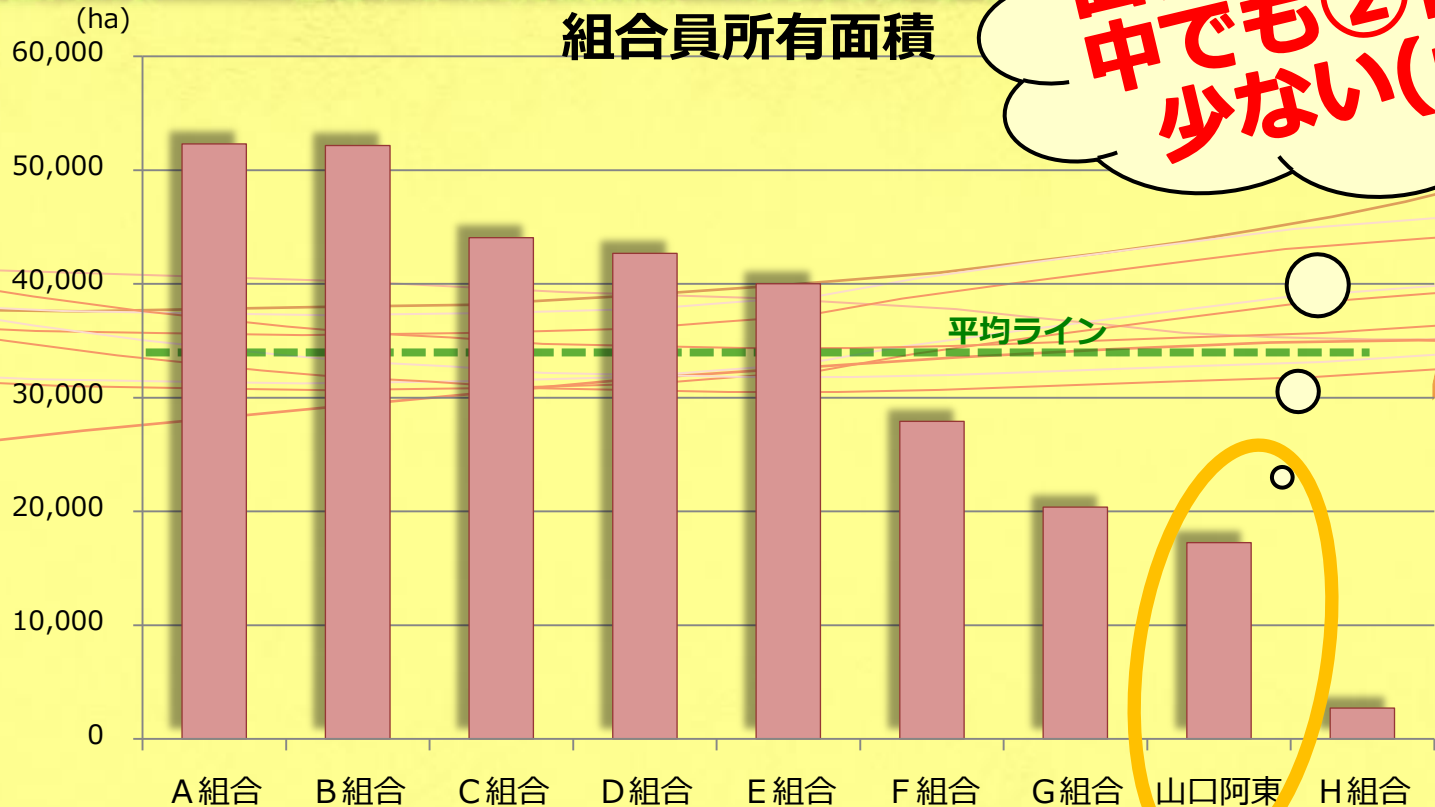
人工林 (ha)	人工林率	天然林 (ha)	竹林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)
	44%				

森林組合員所有森林面積



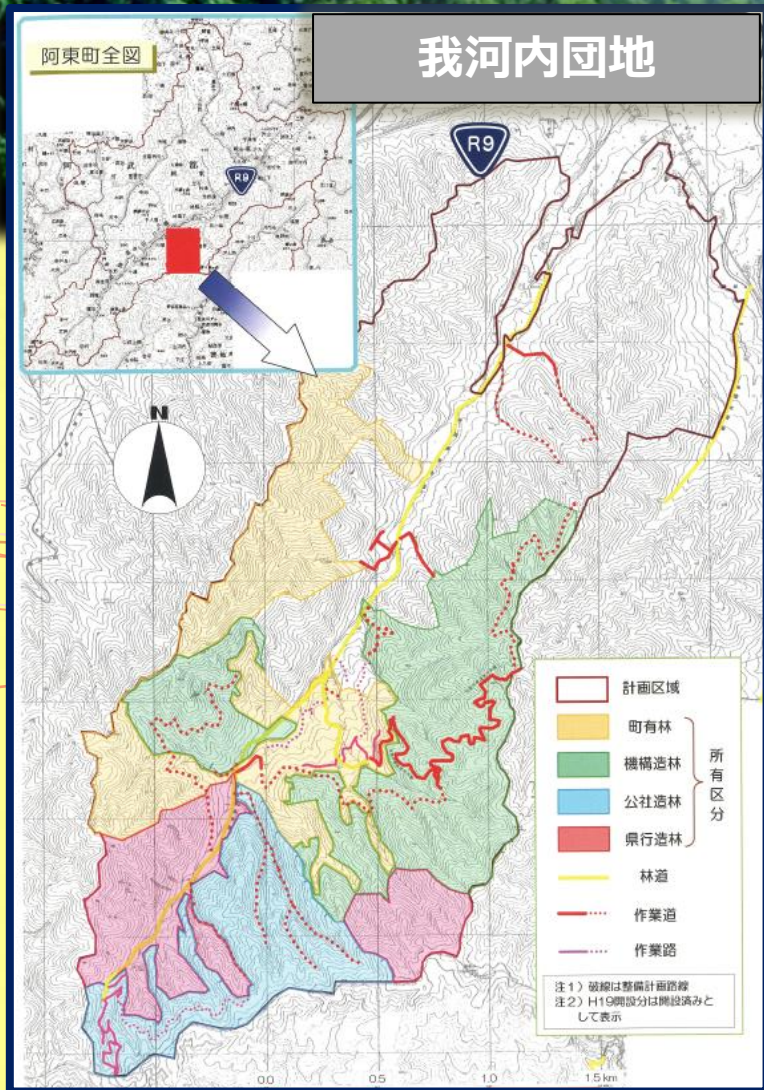
面積は⑨組合の中でも②番目に少ない(平均)

組合員所有面積



出典：平成26年度 山口県森林・林業統計要覧

搬出間伐に踏み出す契機となった 「我河内モデル」の取り組み



県主導による「モデル団地」の設定
(H19年度)

プロジェクト員として参加！

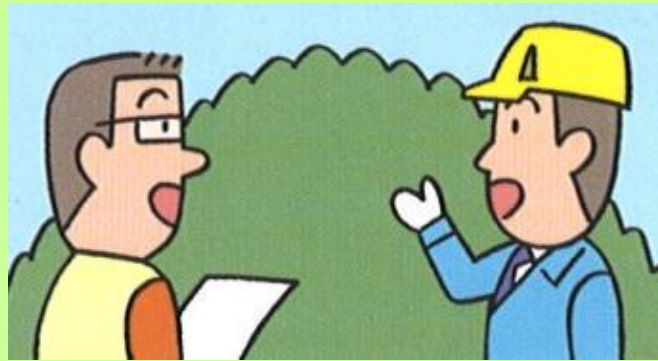


「搬出間伐」への
取り組みを強化！！



本日、お話しするテーマ

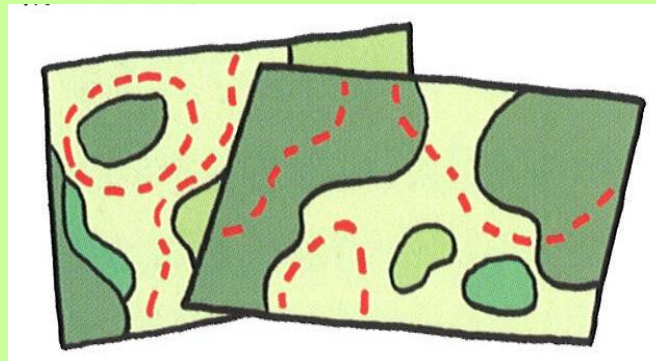
☆当組合が「搬出間伐」を推進する上で取り組んだこと！



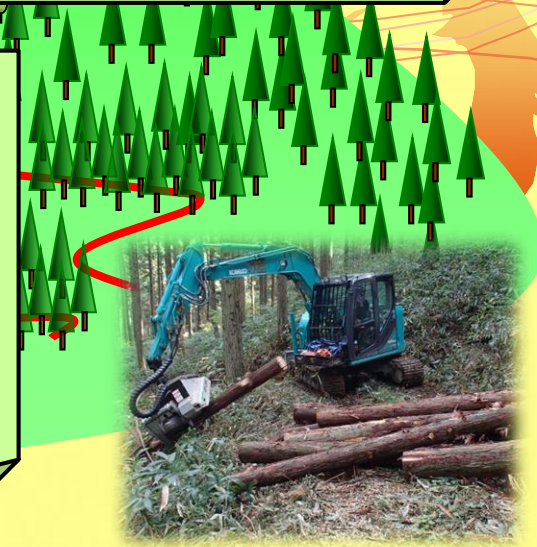
I 組織改革(人材の育成)



II 機械化(作業システム)



III 団地化



I 組織改革(人材の育成)

“**搬出間伐**”に集中できる環境づくりの構築



① 現業職員制度による
「**搬出間伐作業**」の専属化

○得られた成果
班員のモチベーションの向上。
搬出スキルの向上。



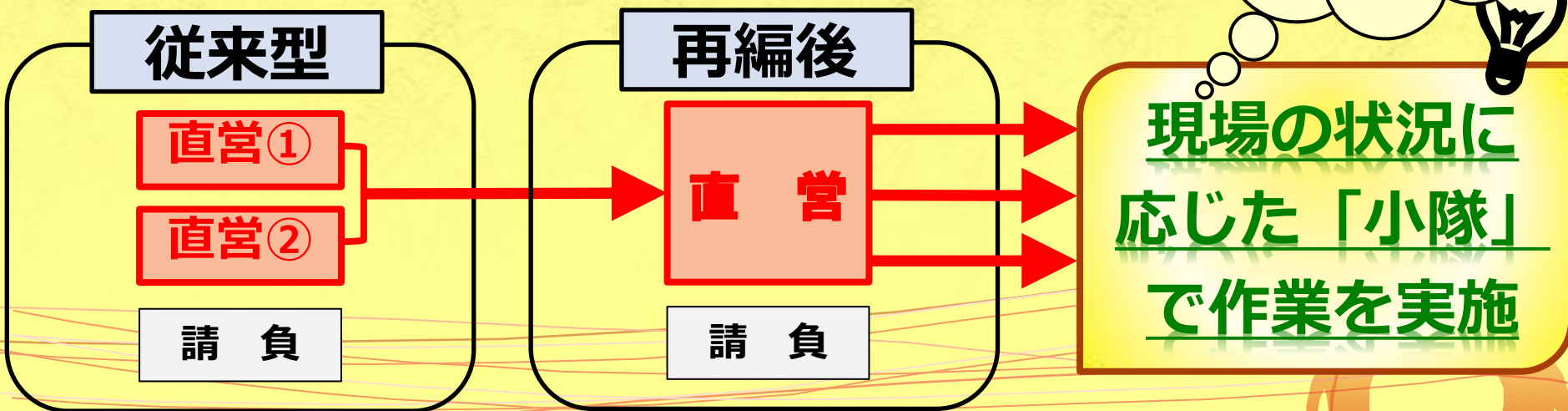
ミーティングの状況

班員自らが自発的なミーティングを実施

I 組織改革(人材の育成)

② 「搬出間伐班」の再編

- ・ 縦割りの解消!
- ・ 臨機応変な班体制の構築!



○得られた成果

現場の状況に応じた適正人員の配置。
縦割りの班体制の解消により、**最大で3ヶ所**
の現場を稼働。

I 組織改革(人材の育成)

③ 主任ポストの創設

○目的

「事務職員」と「現業職員」の垣根を無くすため、「現業職員」が「主任ポスト」に就任。

○現行の実務

工程調査の実施や取りまとめ。
これら結果を活かした作業の改善。

○将来、期待する役割

森林組合の取り組み等を発信する
スポークスマンに育つことを期待！！

☆目標
1班9人態勢
☆中期経営計画
年間1人の雇用
(現在8人)



Ⅱ 機械化(作業システム)

☆高性能林業機械保有状況



プロセッサ(平成25年導入)



機械名	年式	規格
① プロセッサ	平成19年	0.25 m ³
② プロセッサ	平成25年	0.25 m ³
① フォワーダ	平成15年	3 t
② フォワーダ	平成20年	3 t
③ フォワーダ	平成23年	3 t

このほか、ザウルスロボ1台、グラップル2台を保有



フォワーダ(平成20年導入)

搬出間伐の実施状況

(ウインチによる木寄せ：開作西ヶ輪公社造林地)



「伐倒」作業と並行して「木寄せ」作業を行います。

搬出間伐の実施状況

(プロセッサによる造材：開作西ヶ輪公社造林地)



「伐倒・木寄せ」作業完了後にプロセッサを集中稼働。

搬出間伐の実施状況

(フォワーダによる造材：開作西ヶ輪公社造林地)



① フォワーダで山土場まで運搬。

② 山土場の材が30~40m³になったらトラックで木材市場に出荷。

(プロセッサ造材と同時に作業を実施【フォワーダ運転者：緑の雇用2年目の井上オペレーター】)